

レジメン名

Nivolumab+Ipilimumab

出典 オブジーボ[®]ヤーボイ[®]適正使用ガイド2025年8月作成

対象疾患

肝細胞癌

■進行・再発
□補助療法（術前・術後）
□
□

1クール期間

21日(4クール目まで)
14日又は28日(5クール目から)

総クール数

PDまで

（次のクールまでの標準期間）

実施部署区分

■入院 ■外来 □処置

投与中止の基準

ベースラインのAST,ALT又は総ビリルビンが基準値内		
120IU/L<AST≤200IU/L 若しくは 135IU/L<ALT≤225IU/L 又は 1.8mg/dL<T-bil≤3.6mg/dL		ベースラインに回復 するまで投与を延期
200IU/L<AST 若しくは 225IU/L<ALT 又は 3.6mg/dL<T-bil		
		投与を中止
ベースラインのAST又はALTが基準値上限を超えている		
(ベースラインULN<AST≤120) 200IU/L<AST≤400IU/L (ベースラインULN<ALT≤135) 225IU/L<ALT≤450IU/L		ベースライ ンに回復す るまで投与 を延期
(ベースライン120<AST≤200) 320IU/L<AST≤400IU/L (ベースライン135<ALT≤225) 360IU/L<ALT≤450IU/L		
400IU/L<AST 若しくは 450IU/L<ALT 又は 3.6mg/dL<T-bil		投与を中止
Cre	1.62 (女性1.2) mg/dLを超える	Grade1以下又はベースライン に回復するまで投与を延期。内 分泌障害については症状が回 復するまで投与を延期。
Grade2の副作用 (内分泌障害及び皮膚障害を除く)		
Grade3の皮膚障害、症候性の内分泌障害		
Grade3以上の副作用 (内分泌障害及び皮膚障害を除く)		
局所的な免疫抑制療法が有効でない Grade2以上の眼障害		投与を中止
Grade4の皮膚障害		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
<1-4クール目(3週間間隔)>				
ニボルマブ(オブジーボ)	80mg/body	輸液100mL	30分	day1
イピリムマブ(ヤーボイ)	3mg/kg	輸液30mL※	30分	day1
※希釈後の点滴溶液中のヤーボイの最終濃度が1~4mg/mLになるよう調製 250mg以下の場合:生理食塩液または5%ブドウ糖液50mLから20mLを抜き取り30mLとした輸液バッグに ヤーボイ3mg/kgを注入し調製 250mgを超える場合:生理食塩液または5%ブドウ糖液100mLから70mLを抜き取り30mLとした輸液バッグ にヤーボイ3mg/kgを注入し調製				
<5クール目以降(2週間間隔または4週間間隔)>				
(2週間間隔の場合)				
ニボルマブ(オブジーボ)	240mg/body	輸液100mL	30分	day1
(4週間間隔の場合)				
ニボルマブ(オブジーボ)	480mg/body	輸液100mL	30分	day1

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
<1-4クール目(3週間間隔)> day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②オブジーボ80mg/body+輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与 ③生食50mL(30分) 経過観察 ④ヤーボイ3mg/kg+輸液(250mg以下の場合:50mL、250mgを超える場合:100mL) 30mL※(30分) インラインフィルター(0.2~1.2µm)を用いて投与 ⑤生食50mL(フラッシュ用)
<5クール目以降> (2週間間隔の場合) day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②オブジーボ240mg/body+輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)
(4週間間隔の場合) day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②オブジーボ480mg/body+輸液100mL(30分) インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)